

2017 年度実施「学生による授業評価アンケート」自由記述欄の意見・質問等への回答  
(地域行政学科)

地域行政学科の皆さん、「学生による授業評価アンケート」へのご協力、ありがとうございました。「自由記述」欄には、多くのご意見・ご要望が寄せられました。そのすべてに回答することはできませんが、地域行政学科の講義に関係するいくつかの点について回答したいと思います。

①基礎経済学を必修にすることをやめてほしい

みなさんは行政と経済は関係ないと思っていませんか？それは大きな間違いです。行政を考える上で、経済を考える視点は不可欠です。国や地域を運営するためには、その経済や財政の状況がどうなっているのかを理解しなければなりません。経済学は、そのための重要な視座を提供してくれます。公務員試験で経済学の問題が出るのも、公務員として、経済学の知識を持ち、経済について考える力があるのかを計るためだといえます。

また、公務員志望ではない人にとっても、経済学は有益です。民間企業などで働く上でも、世の中の経済がいかに関っているのかを理解することは重要です。経済学は、そのために重要な道具になるでしょう。

地域行政学科として、「地域」のこと、「行政」のことを、深く広く理解し、考える上で、経済学は重要な学問なのです。この点で、地域行政学科で、経済学を学ぶ機会があることはむしろ大きなチャンスです。公務員志望の人も、そうでない人も、地域行政学科で、経済学が必修になっていることを、もっと前向きに考えて、積極的に勉強してみませんか。

②講義の時間がかぶっているのを何とかしてほしい

とりたい講義の時間が重なり、一方をあきらめなければならないのがつらいという気持ちは理解できます。しかし、大学では多くのさまざまな講義が開講され、教室の関係もあり、いくつかの講義の時間が重なってしまうのはやむを得ないことです。特に近年、五校時以降はほとんど講義を行わなくなったことで、時間割もタイトなものになっています。

みなさんには、大学生活が 4 年間もあります。ぜひ長い目で見て、今年度履修登録できなかった講義については、次年度以降にぜひ再度挑戦してみてください。